

## 令和元年度理学部鶴風会北海道支部総会 第15回三学部合同研修会・同窓会 報告

北海道支部 支部長 藤村忠明(昭46・生物)

令和元年11月2日、札幌プリンスホテルにて北海道支部総会を開催しました。平成30年度活動報告・会計報告に続き、平成11年設立時の支部規約の変更について討議し、一部改定が承認されました。改定の大きな点は支部会費規定(内規)の廃止と支部解散は出席者の3分の2以上の同意から過半数以上に改定。支部総会開催時期についても三学部同窓会に合わせた隔年開催を可能にしました。参加者の固定化、今後若い会員の参加は難しいことから規約の改定はやむを得ないと判断しました。



進藤洋一支部担当理事から他支部の活動状況の報告があり、皆様ご苦勞されていることを改めて認識し、支部長のご苦勞がひしひしと感じられました。

研修会は薬学部が当番で、平成8年卒の岩浪佳晃氏の講演。「高齢化社会における在宅医療での薬剤師の活動の成果と展望」と題し、薬剤師が関与することで患者にきちんと服用し、病状の改善に取り組む活動(取組)が紹介されました。



大学から高松学長、田中副学長そして医・薬・理同窓会役員を含め6名の参加をいただき、総勢30名の参加による同窓会が始まりました。テーブルスピーチでそれぞれ大学への思い、現況報告など賑やかに楽しいひとときを過ごすことができました。定番の校歌斉唱によりお開きとなりました。次回は2年後の令和3年です。

